

広島大学 校友会だより

『広島大学75年史』NOW!⑥ お手持ちの写真・資料をご提供ください。

広島大学演劇研究会発表会「崑崙山の人々」
1952年4月



新井俊一郎さん 提供
1955(昭和30)年政経学部卒業

「政経学部ではなく演劇部を卒業した」と言われたぐらい、在学中は演劇にのめり込みました。写真の左端で珍無類な男を演じているのが私。舞台装置も二日間不眠不休で造り上げたため、公演終了も気づかず舞台上で眠り込んでおりました。物の無い時代、創意工夫で仲間たちと舞台を造り上げた経験は、その後の人生でとても役立ちました。

思い出は
歴史になる。



理学部地質鉱物学教室開講20周年記念展示
1962年12月

沖村雄二さん 提供
1956(昭和31)年理学部地学科卒業

開講20周年を記念して、恐竜(Tyrannosaurus)のオブジェを制作しました(右下の説明板は私が書いたものです)。当時私は助手で同僚の竹野節夫氏とともに、資金集めや資料の手配など渉外を受け持ちました。大学院生が中心となって作業し、完成まで約1カ月かかりました。1週間ほど展示しましたが、学外からかなりの見物客があり世間の注目を集めました。

連絡先 広島大学75年史編纂室(担当:石田) 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学文書館内
電話:082-424-5120 FAX:082-424-6049 E-mail:nenshi75@hiroshima-u.ac.jp

第13回課外活動援助団体 広島大学体育会軟式野球部

優勝に向かって突き進む。 最後の大会で、最高の結果へ。



平岡大輝 (教育学部2年) 辻和彦(副主将) (経済学部2年)

表紙は語る



長尾海也 主将
教育学部2年

長い歴史があり、過去には全国大会準優勝の経験を持つ、広島大学体育会軟式野球部。現在は部員19人、マネージャー4人の23人で活動しています。「コロナ禍で思い通りにいかないこともありますが、秋から少しずつ活動を再開しています*」と副主将の辻さん。2020年は新型コロナウイルスの影響により、全ての大会が中止になってしまいましたが、2019年には春季リーグ優勝、全国大会ベスト4、秋季リーグ優勝、西日本大会優勝と輝かしい結果を残しています。今後の目標について長尾主将は「4月には3年生になり、春のリーグが最後の大会となります。全力を尽くし、最高の結果を残したいです」と話してくれました。

*2020年12月3日から当面の間、全ての課外活動が中止となっております。
(2021年2月10日時点)

広島大学体育会軟式野球部の情報はコチラから▶



野球が好きな方、サークルでは物足りない方、
もちろん初心者の方も大歓迎です!



特集 工学部創立100周年 報告 第14回広島大学ホームカミングデー

先輩INTERVIEW

株式会社中国放送 代表取締役社長 宮迫良己さん(1982年工学部卒業)

夢の系譜 [ドリームチャレンジ賞が育てたもの]

第13回ドリームチャレンジ賞受賞者

横川知司さん(広島大学地理学研究会/大学院教育学研究科 博士課程後期3年)

第1回ドリームチャレンジ賞受賞者

小倉亜紗美さん(呉工業高等専門学校勤務/2009年大学院生物圏科学研究科修了)

広大ネットワーク



報告

第14回広島大学ホームカミングデー

2020(令和2)年11月7日 広島大学東広島キャンパス

第14回広島大学ホームカミングデーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年と異なるプログラムでの実施となりました。あいにくの雨模様でしたが、キャンパスのあちこちで久しぶりの再会を喜ぶ姿が見られました。



感染症対策も しっかりと!



オンライン

第14回広島大学ホームカミングデー



会場に来られない方のために、特設ページを開設しました。ホームカミングデー当日は、生物学者 福岡先生の講演を生配信するなど、新しい取り組みにも挑戦しました。



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/home/online>

オープニングセレモニー 於:サタケメモリアルホール



学長ご挨拶

さらなる連携強化へ

広島大学長 越智 光夫
広島大学校友会会長

「皆さまから賜ったご厚志に対し、あらためて御礼申し上げます」——応急学生支援金に対する協力への感謝とともに、コロナ禍での大学の取り組みを紹介した越智学長。大学院再編についても報告し、国立大学初となるアリゾナ州立大学の広島大学グローバル校設置に触れ、国際化への意気込みを述べました。

表彰式 表彰を受けられた方々

広島大学長表彰

- 増田 義憲氏 前広島大学顧問弁護士
- 有田 将司氏 技術センター 技術専門職員
- 安倍 学氏 学術院 大学院先進理工系科学研究科 教授・理学部長
- 情報メディア教育研究センター・Bb9 担当及びタスクフォースメンバー

Phoenix Outstanding Researcher Award

- 萩 崇氏 学術院 大学院先進理工系科学研究科 准教授
- 金指 正言氏 学術院 大学院先進理工系科学研究科 准教授
- 古居 彬氏 学術院 大学院先進理工系科学研究科 助教
- 丸橋 達也氏 原爆放射線医学研究所 准教授

広島大学教育賞

- 氏間 和仁氏 学術院 大学院人間社会科学部 准教授
- 榎田 一路氏 学術院 外国語教育研究センター 准教授
- 横藤田 誠氏 学術院 大学院人間社会科学部 教授



特別講演会

生物学者 福岡 伸一氏

子どもの頃、両親からもらった顕微鏡がきっかけで昆虫に夢中になった福岡氏。生物を部分ではなく全体として捉え、細胞や分子の連携や流れに着目した「動的平衡」について語っていただきました。動的平衡とは、生物は変化に抵抗するのではなく、自ら破壊し、絶え間なく作り替えることで、高次元の安定を実現しているというもの。生命の見方を変えさせる非常に興味深い講演となりました。



ホームカミング広場 サタケメモリアルホール周辺

「広島風お好み焼き」でおもてなし!



校友会学生チーム特設ステージ
広場で休憩する人たちのために広島大学のクラブ、サークルがパフォーマンスを披露しました。



校友会学生チーム「先輩見つけ隊」
広島大学卒業生、在学生の写真でつなぐ「広大の輪」。卒業生を中心に写真を撮らせていただきました。



連携市町の物産展
連携協定を結ぶ広島県内市町から、特産品や人気グルメが結集しました。

映像で来場者を“おもてなし”しました。



当日は、会場での密集をさけるため、演奏などのイベントを中止した代わりに、さまざまな映像を上映しました。オープニングメッセージや大学歌の他、アカベラサークルによるアクト、東広島キャンパス、東千田キャンパスのキャンパスレポート、在学生や卒業生からのメッセージなど、たくさんの動画が会場を盛り上げました。



第14回 広島大学ホームカミングデー

学部・研究科企画

学部・研究科とも感染症対策に気を付けながら、イベントを楽しみました!

東広島キャンパス 2020.11.7

文学部

文学部で味わう世界のティータイム

中国(山東省)、エジプト、中国(チベット)からの3人の留学生が、出身地の文化や各自の研究内容について発表しました。その後はロビーに移動し3ブースに分かれ、和やかな雰囲気の中、留学生と自由に懇談しました。感染症対策に留意しつつも、留学生との距離が近く実際に会話ができて、参加者に好評をいただきました。



法学部・経済学部



パネルで振り返る法学部・経済学部・社会科学部

法学部・経済学部・社会科学部で過去に実施した講演会、シンポジウム、ユニークな授業等をパネル展示で紹介しました。

工学部

工学部 創立100周年 記念事業

工学部は、その前身に当たる広島高等工業学校が1920年に設置され、創立100周年を迎えました。100年を振り返る講演から始まり、記念オブジェのデザイン考案者によるコンセプト説明および完成式典を行いました。次いで、各実験施設見学ツアーを実施した後、記念式典・祝賀会にて工学部の100周年を祝いました。



情報科学部

情報科学部における研究最前線の紹介

情報科学部における最新の研究内容をポスターで紹介しました。さらにデータサイエンス分野とインフォマティクス分野の2部屋に分かれて研究内容を展示し、学生が説明しました。



総合科学部

スポーツ健康科学の世界へようこそ!

総合科学部のスポーツ健康科学の研究室が、希望者が体験できる「健康測定会」を開催しました。それに



合わせて展示も行い、参加者との質疑応答の時間も設けました。その後は、総合科学部後援会総会で近況を報告し、修学相談会では相談を希望した保護者と担当チューター・指導教員が、学生の学習状況について面談を実施しました。

教育学部

オペラ

「セビリアの理髪師・フィガロの結婚」上演

コロナウイルス感染症拡大のため、通常通りの練習を行わず、リモートによるオペラの動画を制作しました。当日は、制作した動画と最少人数で演奏できるアンサンブルを交えながら、二つのオペラを再編成したハイライト形式で上演。小道具・大道具・衣装・照明・撮影・編集などは、全て学生と教員が協力して制作し、さらにはライブ配信も行いました。



理学部

理学部生物科学同窓会 記念講演会

恒例となった講演会では、本学の現役教員である浮穴和義教授が講師となり、「生理活性物質を追い求めた約30年—その基礎を築いてくれた理学部生物—」という演題で講演を行いました。研究者を目指すきっかけとなった理学部での2つの出来事や、その後の山あり谷ありの研究者人生についてのお話は、これから研究者を目指す学生だけでなく、現役の大学教員にも刺激を与える有意義なイベントになりました。



生物生産学部

卒業生・修了生へのアンケート

生物生産学部および生物圏科学研究科の卒業生・修了生29名を対象に、本学部・研究科のアンケートを実施。教育の特徴として練習船実習、フィールド実習、実験実習国際化等について、また指導教員の教育者としての評価など、大変貴重な意見をいただきました。教育体制の強みや不足している部分の見直し、さらなる改革に生かしていきます。



先端物質科学研究科

研究室公開

非エルミート量子物理学：物質科学の新しい方向性か、それとも異端か?

会場となった先進理工系科学研究科量子物質科学プログラムの量子多体物性研究室において、担当教員と学生が研究内容について解説しました。来場者からの質疑応答も行い、見学希望者には研究室や設備などを紹介しました。



国際協力研究科

IDEC OPEN DAY 2020

新型コロナウイルス感染症の影響により初のオンラインイベントとなりましたが、各方面の協力をいただき IDEC OPEN DAYを開催しました。アフリカ在住の卒業生や名古屋大学の学生が、オンラインで参加して下さるなど、広島に限らず日本そして世界がつながる企画となりました。



放射光科学研究センター

放射光研究施設探検隊

放射光実験施設の放射光を発生する加速器(放射光源)と放射光を用いる各種実験装置(ビームライン)を間近に見学しました。演示実験では、液体窒素を使った超伝導のデモや光や磁気に関連した実験など、子どもから大人まで楽しめるデモを実施しました。



ナノデバイス・バイオ融合科学研究所

ナノデバイス・集積回路の最前線

研究所ツアーでは、先端的研究の中からトランジスタ・集積回路の設計・製作・評価および生体磁気工学について、実際に装置・設備を見学しながら研究内容を紹介しました。



ダイバーシティ研究センター&教育ビジョン研究センター

広島大学の新しい研究と実践一両研究センター合同展示

ダイバーシティ研究センターからは、性の多様性に関する学内の環境整備、企業でのジェンダー調査、多文化共生の啓発活動などについて紹介し、教育ビジョン研究センターからは、地域学習用デジタルコンテンツの開発のほか、平和教育・授業研究をテーマにした国際協働の成果など、教育学が社会とつながる多様な姿を紹介しました。



●宇宙科学センター「かなた望遠鏡天体観望会」のイベントは雨のため中止になりました。

霞キャンパス 2020.11.14

霞地区合同

医学部・歯学部・薬学部・医系科学研究科・原爆放射線医科学研究所・大学病院

講演会

With/Postコロナ時代のメンタルヘルスと脳科学

うつ病や自殺の増加、若年世代のゲーム依存などが社会問題化する中、今回のコロナ禍によりメンタルヘルスの悪化をさらに加速し、精神疾患の急増が予想されています。本講演会では、広島大学脳・こころ・感性科学研究センターの山脇成人特任教授を講師に迎え、With/Postコロナ時代のメンタルヘルスのあり方について講演を行いました。



総合博物館

第19回ふむむむギャラリー「魅力発見! 広大バードウォッチング」

鳥がいるという当たり前に感じてしまうことを振り下ろし、鳥はいつからいるのか、人との関わりについて、広大ではどんな鳥がみられるのかなど、意外と知らないこと、知って面白いことを「ふむどり」と一緒に調べました。



自然科学研究支援開発センター

極低温の不思議な世界

液体窒素を使用した実験では、高温超伝導体を用いたジェットコースターと磁石の浮上実験、花やバナナで釘を打つこと、空気が液化して1/800に縮むなどの体験をしました。



文書館

「広島大学の歴史」展

写真パネルを通して、広島大学のキャンパスや学生生活の移り変わりを振り返りました。



東千田キャンパス 2020.11.21

法科大学院



法科大学院 Global Ground Zero: Hiroshima, Transformation, and the Praxis of Peace 講演会

広島市在住のフリーライター PETER CHORDAS氏による講演会を開催しました。英字紙 JAPAN TIMES 等に8月6日関連の記事を執筆するとともに、HIP(平和のためのヒロシマ通訳者グループ)でのさまざまな活動を通じて、被爆者の証言等を英訳する指導を行われており、その経験に基づいたお話をいただきました。



特集 広島大学 工学部創立100周年

工学部は、その前身に当たる広島高等工業学校が1920年に設置され、2020年に100周年を迎えました。100周年を記念した講演やオブジェの作成、施設見学や式典・祝賀会などさまざまな事業を実施したほか、1999年に工学部第四類を卒業し、お笑いタレントとして活躍するアンガールズの田中卓志さんも母校に凱旋。工学部の魅力に触れました。

学部長あいさつ



1958年山口県周南市生まれ。81年大阪大学工学部を卒業し、2006年まで同大で助手、講師を経て助教授を務める。06年、広島大学教授、19年4月から現職

自主性引き出し実践力育む

広島大学工学部長 菅田 淳 教授・工学博士

1920年に設置された前身の広島高等工業学校は、中四国地方の技術者の育成を目指し、広島県の支援を受け設立されました。座学だけではない「実学の教育」をモットーに掲げ、実社会で活躍できる人材の輩出を使命としてきました。そういった姿勢は今も受け継がれています。

広島大学工学部では入学時に専攻を選択できる「類制」を導入し、学生の自主性を引き出しています。さらに、マツダ株式会社（広島県府中町）やコベルコ建機株式会社（広島市佐伯区）など、地元企業との共同研究にも力を入れています。企業の社員と協働することで、働く上で必要な実践力を身に付けます。

これからも「答えのない学問」に向き合い続け、産業界の発展に寄与できる人材を輩出し続けます。



ものづくり精神脈々

写真で見る100年のあゆみ

- 1920 (大正9)年 広島高等工業学校創立 (広島市国泰寺)
- 1930 (昭和5)年 創立10周年記念式挙行
- 1940 (昭和19)年 広島工業専門学校に名称変更
- 1945 (昭和20)年 広島市立工業専門学校設立
- 1949 (昭和24)年 広島工業専門学校と広島市立工業専門学校を併合して 広島大学工学部設置
- 1950 (昭和25)年 工学部創立30周年
- 1960 (昭和35)年 元広島市立工業専門学校校舎 (昭和26年頃) 出典：広島市公文書館所蔵
- 1970 (昭和45)年 工学部創立50周年
- 1980 (昭和55)年 工学部創立60周年
- 1981 (昭和56)年 移転直前の千田キャンパス (工学部) の様子
- 1982 (昭和57)年 広島市中区千田町から東広島市へ 先陣を切って工学部が移転
- 1995 (平成7)年 工学部創立75周年 東広島キャンパス移転完了
- 2000 (平成12)年 国立大学法人広島大学の発足
- 2004 (平成16)年 国立大学法人広島大学の発足
- 2020 (令和2)年 工学部創立100周年記念事業開催 広島大学初となるネーミングライツを 工学部実験研究棟C1「おもしろラボ」に導入
- 2020 (令和2)年 4月に大学院工学研究科を含む5研究科を再編し、 先進理工系科学研究科が発足

工学部創立100周年記念事業

工学部の卒業生や関係者へ出席いただき、記念講演や記念オブジェ完成式典などを行いました。



ごあいさつ 広島大学長 越智 光夫

広島大学工学部は、前身である広島高等工業学校が設立された1920年から1世紀にわたって、日本のものづくりの精神と技術を兼ね備えた人材の輩出に貢献してまいりました。現在、情報通信技術によって第4次産業革命の真ただ中にあり、人材の育成が喫緊の課題ですが、広島大学では、融合的な力を身に付けるための大学院の再編を行い対応を進めています。今後は企業とタイアップして共同研究講座の設置や、博士課程学生を支援する具体的な仕組みづくりにも取り組んでまいります。

広島大学工学部がこれからの100年も、中国・四国はもとより、国内外の工学をリードする教育機関として、また世界トップレベルの研究成果を発信できる研究機関として発展を続け、広島をはじめとする地方創生にも重要な役割を果たすことを期待しております。



記念講演 場所：工学部大会議室

題目 工学部100年を振り返って

広島大学工学部長 菅田 淳

記念講演では工学部の歴史や変遷、活動など、100年の歩みを振り返りました。その後は「感謝と飛躍」をテーマとした記念オブジェのコンセプトを紹介。オブジェは「智慧の踊り場」と名付けられ、学生の交流の場となり、勉強や研究、読書など、楽しく没頭できる空間設計となっています。さらに工学部の入口には「出迎え見送る門」と名付けられた門が、長年受け継がれてきた門柱の前に設置され、この場所で工学部の過去と未来がつながり、社会との架け橋になるという思いが込められています。

記念オブジェ完成式典 場所：工学部75周年記念時計台付近

完成式典では来賓の方々や設計者によるテープカットが行われました。屋根の素材にはCLTと呼ばれる新しい木材を使用し、心身に安らぎを与えてくれます。底部は工学部らしさをイメージし、はんだ付けをしたような造りとなっています。



安藤 森さん

嶋田 駿斗さん

記念オブジェは、100年という節目を迎え、現在の広島大学工学部がこれまで多くの卒業生に支えられてきたことに感謝するとともに、これからのさらなる飛躍に向けた期待感を抱ける記念オブジェとして製作。デザインは公募し、優秀賞3作品を融合させたプランになりました。



優秀賞

全体計画/梶川 大介さん「HU-E-DNA」
オブジェ/安藤 森さん「出迎え見送る門」
オブジェ/嶋田 駿斗さん「智慧の踊り場」

実験施設等見学

来賓の方々に、工学部各実験施設等を紹介しました。



記念式典・祝賀会 場所：西条 HAKUWA ホテル

記念式典・祝賀会では鏡開きで乾杯し、東広島次郎丸太鼓、大道芸やマジックなど、さまざまな催しが会場を盛り上げました。



おじゃましました!

アンガールズ田中さんの母校探訪

工学部第四類OBのアンガールズ田中卓志さんが、中国放送の人気番組「元就。」のスピノフ番組「元就。外伝」の収録で、2016年に広島大学アンバサダーに就任して以来4年ぶりに母校に凱旋しました。越智学長を訪ねたあと、自身の学生時代を思い返し、工学部棟とその近辺を歩いた。工学部が誇る最先端の研究に感動しつつ、学食の懐かしの味を堪能。工事中の記念オブジェの仕上げも行い、100年の歴史に新たな1ページを刻みました。



うまいでがんです!

懐かしのフライ堪能

工学部棟に一番近い学食「東福利会館」へ。懐かしの味「ささみチーズフライ」を食べて「うまいでがんです!」。ご飯や豚汁なども注文し、相手の山根良顕さんと一緒にランチを楽しみました。

ロボット操作に苦戦

菊植亮教授の機械力学研究室を訪ねました。大学院博士課程前期2年の安藤智哉さんが指南役となり、手元のコントローラーを使った画面内のロボット操作を体験。階段の上り下りに苦戦しながらも、技術の高さに感心していました。



ハットになるまで何度も挑戦!

バーチャルでリハビリ

栗田雄一教授の生体システム論研究室を訪ね、バーチャル技術を活用したリハビリを体験。映像が映し出される眼鏡を装着し、迫り来る障害物をしゃがんでよみました。



ゼミの思い出懐かしむ

自身が学んだ第四類にある都市・建築計画学研究室の角倉英明准教授を訪ねました。自身が表紙デザインを手掛けた、ゼミ旅行のパンフレットを見て当時を振り返り、ゼミの先生や学友との思い出話に花が咲きました。

タイル張りで100年に花

100周年記念オブジェの仕上げをしました。元建築学生らしく、タイルの配列や色の並びに気を配りながら残された2枚を床に張り、創立100周年に花を添えました。



ライブ配信 「記念講演」「記念オブジェ完成式典」「記念式典・祝賀会」の様子は、YouTubeにてライブ配信しました。当日の様子は、下記の2次元バーコードを読み取るとご覧いただけます。

記念講演
<https://www.youtube.com/watch?v=hIRP6-tg93Q&feature=youtu.be>



100年の歩みを振り返るとともに、100周年記念オブジェのコンセプトを紹介しました。



記念オブジェ完成式典
<https://www.youtube.com/watch?v=oUAN60BZ8co&feature=youtu.be>



75周年記念時計台付近で、記念オブジェの完成式典を行いました。



工学部創立100周年記念式典・祝賀会
<https://www.youtube.com/watch?v=jPpztSxQKXo&feature=youtu.be>



西条 HAKUWA ホテルにて、100周年の記念式典・祝賀会を行いました。





第13回ドリームチャレンジ賞受賞者

広大学生が暮らす町「西条」を深掘り! ガイドブックという集大成に



広島大学地理学研究会

横川 知司さん 大学院教育学研究科 博士課程後期3年

校正作業がとにかく大変でした。
院生の苦勞の結晶を片手に、西条のまち歩きを楽しんでください。

やりたいこと
在学生

地域調査で西条を知る

「SSK48～西条の坂道48選～」「西条はあるけど東条は?」「西条で開催されたカープ公式戦」など、目次を読むだけでも興味をそられる『西条地歴ウォーク』。2020年4月、大学院教育学研究科の院生12人が自費出版したガイドブックです。

「もともとは、西条を地理学的方法で調べてみようという熊原康博先生の授業からスタートしました」と、執筆・編集・図表作成を手がけた同研究科の横川知司さん。まとめたものを東広島市の「地域課題研究懸賞論文」に出したところ、最優秀賞を受賞し、本格的に出版化が決定。その後、テーマなどを見直し、院生それぞれが文献・資料調査とフィールドワークで研究を進め、地図や分布図を盛り込んで原稿を作成しました。授業開始から約3年を費やしたそうです。

地域の方との絆が生まれた

西条の農業や暮らしなど、主に文化的な項目を担当した横川さんは、調査を進めるうちに、あらためてこの町への関心が高まったと言います。

「例えば、エリア内には円筒分水（農業用水などを公平に分水する施設）が残っています。これは、昔から水不足に悩まされてきた西条らしさを表すもの。貴重な水を分配して大切に使おうという、人々の息づかいみたいなもの



フタバ図書、大学生協、Amazon、西条の書店で販売。地元の本屋には自ら足を運んでPRした。

を感じましたね」

また調査中はもちろん、出版後に何十冊単位で購入してもらったり、「地元の方に大いに助けられました」とも話します。西条に注目する学生の存在は、その町の人々にとっても喜び。お世話になった人の中には、既に本がポロポロになるまで、読み込んでいる方もいらっしゃるそうです。

エリア拡大版を制作予定

横川さんは執筆と同時進行で、全ての原稿をチェックし、デザインソフトで図表を作成し、出版社との校正のやりとりまで担当しました。さらに、自費出版という厳しい状況下、費用を補うために、「ドリームチャレンジ賞」へ申請。初体験のことばかりで大変だったが、今後も何らかの形で活動は継続していく予定という。

「東広島市版を作ろうという話が出ていますし、自分の研究としても地域関連のことは続けていきたいですね」

横川さん本人は和歌山県出身。しかし、ガイドブック制作を通して、第二の故郷「西条」にいつそう愛着がわいたそう。本をきっかけに、同じような広大学生が増えることが、彼の一番の喜びになりそうです。



地域の方との1枚。アイデアを出し合って項目を決定し、資料をもとにフィールドで聞き取り調査を実施。



第1回ドリームチャレンジ賞受賞者

黒瀬川流域の研究が出発点 社会貢献の思いを胸にフィールドを拡大



呉工業高等専門学校勤務

小倉 亜紗美さん 2009年大学院生物圏科学研究科修了

広大は塀がない大学。
キャンパスにとどまらず、地域で学びなさいという先生の言葉が心に残っています。川の研究・活動も継続中です。

やり遂げた!
卒業生

人と自然の関係を学びたい

16年前、広島大学大学院（生物圏科学研究科）で、東広島市を流れる「黒瀬川」の研究に携わる一人の院生がいました。名前は小倉亜紗美さん。元来、ものづくりが好きだったという小倉さんは、中学校卒業後和歌山高専へ。機械工学を専攻しながら、環境福祉ボランティアサークルの活動にも力を入れていました。背景には中学時代、日本海で発生した重油流出事故（ナホトカ号事件）にショックを受けたこと、自身が阪神・淡路大震災の被災者になり、周りの方に助けられた経験があったからだそうです。

ボランティアを通して、「人が自然環境に与える影響について調べて解決したい」と強く思うようになった小倉さんは、機械工学から自然環境を学べる広島大学総合科学部に編入学。学部4年生の時に、生態系や環境に詳しい中坪孝之先生の研究室の門を叩きました。

黒瀬川のクリーン化

中坪先生から、「広島県の健やかな流域づくり事業（黒瀬川モデル）に、学生団体として参加してみても」と提案されたのは、大学院に進んだ年のこと。メンバーと川のクリーン化につながる案を出し合い、『黒瀬川流域ガイドブック』の制作が決定しました。「身近な川なのに、目を向けられないばかり。まずは興味を



流域の生き物・水の浄化などのコラムや写真を多く掲載。持ち歩きに最適なA5判、フルカラーで出版した。

持ってほしかったんです」

情報収集から撮影、原稿作成、デザインまで、ほぼ学生4人で担当することになりましたが、県の事業の一環だったこともあり、タイトスケジュールな上に予算はゼロ。そこで、創設されて間もない「ドリームチャレンジ賞」を活用しました。「おかげで印刷製本費の大部分をまかなえたんです。半年くらいで本が完成して、1冊500円で販売を開始しました」。メディア紹介の反響もあり、当初の1,500冊は完売。翌年には800冊を増刷したそうです。

社会活動で恩返しを

公立図書館や小学校への寄付、口コミなどを通して、ガイドブックは地域に広く浸透しました。「絶版になった今でも、問い合わせをもらうことがあります。黒瀬川の水質も当時より良くなって、関心を持つ人が増えました」。そう語る小倉さんは、大学院修了後、広島県環境

保健協会や広大の国際センター・広島大学平和センターなどで働き、国際交流や留学生支援、平和関連などの分野に活動の場を広げました。現在は、呉高専の講師として教壇に立っています。

「学生には環境と国際理解と平和はつながっていると話します。下水処理場ができて暮らしが快適になれば、人々の争いは減りますよね。未来の技術者に、自分は何ができるかを考えてほしいんです」

小倉さん自身、常に「今できること」を自問しながら、前進してきた印象です。「社会貢献は、震災時に私を助けてくれた人々への恩返しなんです」という一言に、全てが凝縮されているように感じられました。



ガイドブック制作の前身となった研究室の活動。黒瀬川沿いを歩きながら、水質調査や自然観察などを行った。

地域から必要とされる会社に。
両方の機能を充実させて
情報発信と多様なコンテンツ制作

1982年工学部卒業
株式会社中国放送 代表取締役社長
宮迫 良己(みやさこよしみ)さん

広島県呉市生まれ。広島県立呉三津田高校を卒業後、広島大学工学部 第二類入学。1982年に中国放送入社後は、中継やスタジオのカメラマン・スイッチャーを務める。1994年「アジア競技大会組織委員会」に出身し、各方面との調整を担当。東京支社、テレビ編成制作部長、コンテンツビジネス局長、取締役、常務、専務を経て2020年6月より現職。編成時代から20年以上関わってきた広島東洋カープは、県人として大ファン。故・衣笠祥雄さんとは親交が深く、「その人間性が素晴らしい」と話す。

広島県で、民間放送としては最も早く開局した中国放送(RCC)。
2020年6月に社長に就任した宮迫良己さんは、広大工学部から技術職として入社し、時代の最先端で放送局の新しい形を作り上げてきました。
普段あまり接する機会がない放送業界のトップに直面し、学生たちも興味津々。
「大学時代は自分らしく、伸びやかに過ごしました」と穏やかに語る宮迫社長に、活発な質問が寄せられていました。

高3の秋から猛勉強

高校3年の夏まで、軟式テニス漬けの日々でした。だから受験勉強を本気で始めたのは秋風が吹き始めた頃。東京の私大には落ちて、翌年からは共通一次試験が始まるタイミングで

した。「浪人すると不利だぞ」と先生がブレッシャーをかけてくる中、広大に進学したテニス部の先輩が誘ってくれたので、実は軽い気持ちで入学しました。

運転免許を取るまでは、電車で呉から千田キャンパスに通いました。毎日じゃないですよ。

千田町とか翠町とか、友人の下宿を泊まり歩いて、自宅には時々……(笑)。在学中に工学部の先行移転が始まり、引っ越しに駆り出されたのは卒論を書いている最中。西条キャンパスのぬかるみの中、研究室の荷物を運ぶのが大変だったのを覚えています。



楽しく働いて給料をもらった

当時はコンピューターが世に出始めた頃で、これから伸びていく分野だし面白そうと感じて、工学部では情報システム経営工学を専攻。授業は熱心に受ける方ではありませんでしたが、落としたらマズそうな単位はしっかり取っていくなど、要領は良かったと思いますよ。就職は「青田買い」が行われていた時代で、OBの紹介で大手メーカーなどに入社できていました。でも、ここでちょっと変わり者の性格が出たのです。このままエスカレーターに乗るのはイヤだな。地域貢献の思いもあったので、そこまで大きくないけど能力を試せそうと考えて、中国放送(RCC)を志望先に決めました。

情報系を学んだ流れで技術職として入り、初めは制作カメラマンになりました。撮影スキルを身に付けるまでは苦労しましたよ。でも現場は楽しかった。例えば野球の中継だと、自分がリアルに感じたものを伝えられて、それが共感を呼ぶのですから。しかも給料ももらえて、言うことないでしょう(笑)。

ローカル局発の全国放送

面白かった撮影の現場ですが、携わったのは、入社して7年ぐらいで、その後の番組編成の方が、キャリアとしては長いですね。思い出深いのは、東京支社1年目のこと。RCC初の試みとして、全国放送向けに「日伯修好通商航海条約100周年」にちなんだ番組を企画しました。実は広島県人のブラジル移民は全国一。100年の節目に、広島から情報発信する重みを感じたんです。

広島で働くブラジル人家族にスポットを当てるなど、工夫を凝らし、キー局のTBSからOKが出て、放送されるまでに4カ月ほどかかりました。地方局が全国放送の番組を手掛ける難しさを痛感しましたね。自分たちのメリットだけではだめなんです。全国に流すメリット、社会全体に与える影響まで考えなくてはなりません。広い視点で考える大切さを学びました。



広島で愛される放送局に

地元に近いタレントを起用して長く付き合う。これがRCCの方針です。例えば、アンガールズさんや千鳥さんがそう。制作現場のしっかりとした対応のおかげで、タレントも毎回足を運んでくださって、ローカルだけで5年、10年と番組が続いています。これは、「広島に暮らす人々を家族のようにつなげたい」という、RCCのブランドスローガン「広島家族。」に通じていると感じます。

安心・安全につながる情報発信と、笑いや癒やしに寄与する番組やコンテンツの制作。この二つを軸に、広島のQOLを上げる一助になる会社、地域で存在感を示す会社になりたい。コロナ禍という異例な年に社長になったからこそ、そう意気込んでいます。



努力を惜まず自己成長を

もう一つ、RCCの良さとして維持していきたいのが、「やりたいことを任せる」という企業DNAです。私自身、いろいろ失敗がありましたが、「任された以上、期待に応えよう」という思いで今日まで来ました。だから若手社員にも、自由な社風とはいえ、信頼されるための努力は怠らないでほしいと伝えています。学生の皆さんもわかりです。周りには、大学や学生の皆さんを良くしようと動いてくれる人がたくさんいます。感謝の気持ちを忘れずに、期待に応えるよう自分を成長させてください。「信頼されるための努力」は、社会に出たとき役立つと思います。



工学部100周年に
寄せて

創立100周年おめでとうございます。工学部生は、世の中に必要とされるイノベーターの卵ばかりです。自分の学びをしっかりと深めて、将来はさまざまな分野でご活躍されることを祈念しております。

株式会社中国放送

1952(昭和27)年ラジオ局として開局。1959年よりテレビ放送を開始。広島県の民間放送で唯一の「ラジオ・テレビ兼営局」となる。開局60年の2012年より、ブランドスローガンを「広島家族。RCC」に。テレビ、ラジオ、イベント、WEBなどを通じて、地域の暮らしに役立つ情報、広島が元気になる情報を発信している。

取材を終えて

秦莉さん(文学研究科2年)
マスコミの仕事にとっても関心を持っており、今回RCCのトップの方と対面できたことは非常に幸いでした。最初は緊張しましたが、宮迫社長と社員の皆さんはとても温かく、楽しくお話を聞かせていただきました。「やりたいことを任せる」という企業の方針に特に感動し、非常に憧れを持ちました。また、エレベーターの中で常に音楽が流されていることもとても印象深かったです。

片山開貴さん(法学部1年)
笑顔がお似合いの宮迫社長に秘められた仕事への情熱に、終始、魅了されました。何事にも挑戦し続け、そのそれぞれにおいて、しっかりと結果を出すことで、信頼を勝ち得てこられたお姿が、非常に印象的でした。周囲への感謝の気持ちを忘れず、謙虚に自分自身と向き合い続けることの大切さを教えていただきました。

小田夏海さん(人間社会科学研究科1年)
とても貴重なお話を聞くことができました。広島育ちの私にとってRCCさんのコンテンツはとても身近なものです。今回のインタビューを通してその制作に関わる人の熱意を直接感じる事ができました。地域貢献の精神に根差したメディアの在り方のお話が特に印象的でした。「楽しく働く」ことは今後の私の中でも大切にしていきたいです。

貴船桃佳さん(教育学部4年・RCC内定者)
学生時代から現在に至るまでの社長のお話はとても興味深く、これから自分が社会人として進むべき道を示していただけたように思います。「信頼されるための努力は怠らないでほしい」というお言葉をしっかりと心に刻み、4月からその背中を追い続けていきたいです。



東広島 広島大学体育会 馬術部 コロナ禍における馬術部の歩み

馬の管理には多額のお金がかかりますが、コロナ禍でアルバイトもままならず、一時は運営状況が窮地に追い込まれました。こうした中で、馬術部のOB・OGはもちろん、一般の皆さまへの寄付依頼をさせていただいたところ、230名を超える方々から温かいご支援をいただき、何とか急務をしのぐことができました。（※寄付はすでに締め切られています）

夏以降、課外活動の再開が少しずつ認められ、新入生もオンライン勧誘で9名が集まり、おかげさまで新たな馬術部活動のスタートを切ることができました。ご支援いただいた皆さまに心より感謝を申し上げます。



2020年の大会の結果報告
全日本学生馬術大会（唯一参加の認められた公式戦） 国立大学5位

令和3年4月～新入部員募集します！

<https://hiroshimadaigakubajutubu.wordpress.com/>



広島 地域医療を支え、世界に羽ばたく 「広島大学医学部75周年」

国が進めるスーパーグローバル大学創成支援事業（トップ型）の13大学に中四国で唯一選ばれた広島大学。その重要な一翼を担う広島大学医学部が創立75周年を迎えました。これを記念して中国新聞に医学部75周年記念記事を掲載し、広島大学医学部・病院が果たしてきた教育・研究・診療及び地域・社会貢献を市民・県民の方々に広く知っていただきました。さらに、2021年2月27日にはノーベル賞を受賞された本庶佑先生をお招きして記念式典（記念講演会）を開催しました。



広島の近代医学の発祥は、1877（明治10）年創設の広島医学校にさかのぼります。黎明（れいめい）期にあったわが国の医学発展に尽くしたのは、広島の先人たちでした。原爆投下の前日に開校した広島県立医学専門学校は、幾多の苦難を乗り越え、県立医科大学、広島医科大学を経て広島大学医学部となりました。その後、広島大学医学部は、広島の復興・発展とともに中四国有数の医学部として発展してきました。2018年には、日本医学教育評価機構により、国際基準の医学教育を実施していると認定されました。地域社会や世界で活躍できる優秀な医師を養成するために、今後とも国際的に通用する医学教育の充実に力を入れてまいります。皆様のご支援のほど、よろしくお願いいたします。

台北 広島大学台湾校友会 台湾校友会に新メンバーが加入！

2020年11月7日、4人の新しいメンバーを迎えるため、台北市内において台湾校友会がささやかな食事を開催しました。2009年2月に発足した台湾校友会は、広島大学で学び、あるいは研究者として在籍した日本人と台湾人により結成され、現在も定期的に会合を開き、親睦や交流を続けています。現会長の世新大学荒木晴香助教授は4代目の会長となります。先日は、広島大学・千田塾の交流会時に、広大同士として、台湾から応援メッセージも送らせていただきました。台湾校友会のメンバーは皆、広大で勉強したことに大変誇りを持っており、これからも台湾にしながら、母校との交流を続けていきたいと思っております。



関西 広島大学関西フェニックスの会 オンラインで総会を開催

関西在住の広島大学の卒業生が連携を密にして、広島大学の広報や学生の就職活動を応援する目的で設立された関西フェニックスの会。2020年10月17日に、総会がオンラインで開催されました。講演会では、広島大学大学院統合生命科学研究科 島田昌之教授に、哺乳類の雌雄比が1:1になる仕組みについて、そして島田教授が発見された雌雄産み分け法についてお話いただきました。世界の食糧事情にも影響を与える大変興味を引かれるお話でした。今度ともより多くの方に参加していただき、さらに活性化させていく所存です。

2020年度総会を皆さまのご協力で無事開催できましたこと心から感謝申し上げます。今後とも行事が予定されていますので、ご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/kpc>



東広島 広島大学 ふるさと納税

広島大学と賀茂泉酒造株式会社（東広島市）がタイアップした日本酒「広大（ひろだい）」と、広島東洋カープとのコラボレーショングッズが、東広島市のふるさと納税返礼品になりました。商品の組み合わせは、全部で6パターンあります。商品の収益の一部は、広島大学のために使われます。寄付金の使い道・用途を選択する際は、是非とも「広島大学と連携したまちづくり」にチェックをお願いいたします！

ふるさと納税・返礼品に関するお申し込み・お問い合わせは、「ふるさとチョイス」または「楽天ふるさと納税」のサイトをご確認ください。



<https://www.furusato-tax.jp/search?q=広大コラボ>
<https://search.rakuten.co.jp/search/mall/広大コラボ/>



東広島 広島大学校友会 令和2年度学生支援のご報告

ドリームチャレンジ賞と課外活動援助金を2本柱に、広島大学校友会は毎年会員在生への支援を行っています。令和2年度はドリームチャレンジ賞が45件の提案に対して685万円を助成、課外活動援助金は6つのクラブ・サークルに104万円の援助を行いました（例年12月に開催しているドリームチャレンジ賞受賞者の活動実績報告会は新型コロナウイルス感染防止のため、中止しました）。新年度のドリームチャレンジ賞については5～6月頃に詳細を発表する予定です。



第14回ドリームチャレンジ賞授与式（2020年10月1日）

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/dousou/dreamchallenge2020>
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/kagaishinsei2020>



全国 親子3世代広大出身者を探せ

広島大学校友会事務局では、校友会だより【新企画】「親子3世代広大出身者を探せ」と題しまして、おじいちゃん・おばあちゃんからお孫さんまで親子3世代で広島大学に在籍・卒業（修了）した方々を募集いたします。自薦他薦は問いません。まずは、下記ご連絡先まで情報提供をよろしくお願いいたします！

連絡先：広島大学校友会事務局 E-mail: sec@phoenix.hirodai.jp

情報をお待ちしています！



広島 「広島大学・千田塾交流会」を開催

2020年11月11日、ANAクラウンプラザホテル広島にて、「広島大学・千田塾 第13回交流会」を開催しました。第7回定時総会のあと懇親会を実施。コロナ禍での開催のため、スペースを空けた着席形式や個別の配膳など、従来とは異なる方式での運営となりましたが、スマホを利用して参加する広大クイズなども行い、皆様のご協力により大変盛況な会となりました。



<https://sendajuku.net/exchange-meeting13/>



校友会会員用Webサービスにご登録ください。



校友会会員（正会員、準会員）が、パソコンやスマートフォンを通じて24時間、365日、どこからでも情報の登録・変更・会員検索ができるサービスです。正会員の方は、会員間連絡もご利用いただけます。

校友会正会員 ▶ 広島大学の在生・同窓生・教職員・元教職員で校友会に終身会費（¥20,000）を納付された方
校友会準会員 ▶ 広島大学の在生・同窓生・教職員・元教職員で校友会正会員でない方

校友会Webサービスを利用したい方は、申請手続きを行ってください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/touroku/web>

